

2019年10月2日

産婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「Placenta mediated pregnancy complications に対する母体胎児ドプラ超音波所見を用いた発症・予後予測に関する研究」への協力をお願い

産婦人科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016年10月～2019年9月に当科において、妊婦健診施行または入院加療し、当院にて分娩された方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2023年12月31日

研究目的・方法：

妊娠高血圧腎症、常位胎盤早期剥離、子宮内胎児発育不全/Small for gestational age、胎児死亡は全妊娠の5%に見られ、周産期予後不良、周産期死亡を招く原因になりえます。近年ではこれらの合併症は、不適切な凝固活性化の結果として胎盤機能不全から生じることが示唆されており、総称して Placenta mediated pregnancy complications と呼びます。当院にて Placenta mediated pregnancy complication を発症した症例において、子宮胎盤循環不全を反映する母体胎児ドプラ超音波所見を比較し、その病態形成の機序の解明と予後予測を行うことを目的とします。

研究に用いる試料・情報の種類：

【妊娠経過】

妊娠合併症として placenta mediated pregnancy complications の有無

(妊娠高血圧症候群、Small for gestational age、常位胎盤早期剥離、早産)

および上記疾患に関する治療内容と経過

【母体胎児超音波所見】

超音波検査週数、推定体重、胎児臍帯動脈血流拍動指数、胎児中大脳動脈血流拍動指数、胎児中大脳動脈血流最高速度、胎児両心拍出量、胎児臍静脈血流量、母体子宮動脈血流拍動指数、胎盤付着位置

【臨床所見】

母体年齢、基礎疾患、不妊治療の有無、分娩日、分娩週数、妊娠歴、分娩方法、分娩時出血量、新生児出生体重、臍帯血 pH、臍帯血 Hb、臍帯血 Lac、Apgar score、胎盤重量、母

体血液検査所見（アルブミン、AST、ALT、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、フィブリノーゲン、FDP、D-dimer、AT-Ⅲ）、新生児経過

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科
電話番号 058-230-7150
氏名： 島岡竜一

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科
氏名： 島岡竜一